# 富里市第３次行政改革大綱改革プラン（平成２７年度改訂版）の実績

（平成２７年度～２８年度）

富里市総務部企画課

# 改革推進項目の実績

## 第１章　市民サービスの向上

### （１）市民ニーズに対応したサービスの向上

○手話通訳者通年設置・派遣要請に対応した。

○防災・防犯メール配信事業を引き続き実施した。

防災行政無線情報フリーダイヤルを引き続き実施した。

| （年度末） | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 登録者数 | 6,084人 | 6,253人 |
| メール配信回数 | 163回 | 247回 |
| フリーダイヤル利用回数 | 1,258回 | 1,341回 |

○「市長への手紙」「市政へのご意見・ご提案」を引き続き実施した。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 受付件数 | 45件 | 41件 |

○ファミリーサポートセンターの運営を引き続き実施した。

| （年度末） | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 会員数 | 204人 | 138人 |
| 利用数 | 485件 | 489件 |

### （２）情報提供の推進

○外国人支援窓口を引き続き設置した。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 外国人支援窓口相談件数 | ９件 | 30件 |

○財政白書を作成し，ホームページで引き続き公表した。

○地震が発生した際の揺れやすさ等に関する情報をわかりやすく提供し，万が一の場合の備えに役立てていただくために，富里市防災マップを引き続き配付した。

○子育てに関わる関係機関や団体と連携し，『とみさと子育て応援ブック』の配布を引き続き行った。

○協働に関する活動内容を報告書として発行し，市政協力員回覧などで情報を引き続き提供した。

○市民活動総合補償制度について，内容や手続きについてまとめたパン

フレットを引き続き発行した。

○協働を進める上での情報を掲載した「市民協働ハンドブック」を作成した。（H27）

○協働のまちづくりの拠点である市民活動サポートセンターについて取りまとめた記念誌や使用の手引き，パンフレット，ニュースレターを発行した。（H27～）

○指定管理者が作成したこども館のホームページが公開され，ツイッターを利用した情報提供も実施した。（H28）

○市ホームページに審議会の一覧と各月の会議開催情報を掲載し，各会議の掲載ページがあるものについて探しやすいよう掲載した。（H28）

（３）行政評価の推進

○第三次実施計画（平成２８～３０年度）の策定に当たり，平成２８年度からの後期基本計画策定に合わせ，試行してきた事務事業評価を一定の基準，指標をもって，妥当性，達成度や成果を判定する行政評価と位置付け実施した。（H27）

○事務事業評価を実施するとともに，第三次実施計画に掲げる事務事業について，社会経済情勢の変化や新たな行政需要に対応させる見直しを行った。なお，評価結果の予算編成への反映については，第四次実施計画（平成30～32年度）の策定において検討を行うものとする。（H28）

（４）電子市役所の推進

○仮想化技術を用いてインターネットを閲覧できるようにし，インターネット環境を分離した。（H27）

○庁内のネットワークを3系統(個人番号利用事務系，LGWAN接続系，インターネット接続系)に分離し，端末からデータの持ち出し不可対策や二要素認証の導入を行った。（H28）

# 第２章 市民との協働の推進

## （１）市民協働のシステムづくり

○協働のまちづくり推進計画の見直しをするため，アドバイザーとして千葉大学法経学部関谷昇教授をお招きし，年７回会議を実施。平成28年3月に後期実行計画を策定した。（H27）

○「協働のまちづくり推進計画」では５か年の年次計画を定め実施することとしており，下記の事業について実施及び検討した。（H27～）

【平成27年度】

・活動支援アドバイザーの設置及び派遣

・リーダー育成講習会

を実施し，

・（仮称）市民活動支援基金の創設

等の２９事業についてについて検討した。

【平成28年度】

・（仮称）地域活動ポイントの検討

・活動事例の紹介

・市民活動団体などによる講座の検討

・協働のまちづくりモデル事業の実施

等の３０事業について研究や検討をした。

## （２）協働事業の推進

○区・自治会支援を引き続き実施した。

・(一財)自治総合センターが実施する一般コミュニティ助成事業を活用し，コミュニティ活動に必要な備品購入に対する支援をした。

・活動拠点となる集会所の修繕等の支援，防犯対策として防犯灯の設置等の支援をした。

・地域の課題解決に自ら取り組んでいる市民活動団体・区・自治会に対しての支援・助言をした。

○市民が自主的，自発的に行う市民活動を支援することにより，まちづくりの担い手を数多く創出して，協働により住みよい地域社会を豊かに展開していくことを目的とした市民活動支援補助金制度の内容を見直しし，第1次・第2次募集を実施した。（H27～）

| （補助金額） | H27 | H28 |
|---|---|---|
| キックオフ部門 | 2件<br>100,000円 | 2件<br>93,000円 |
| チャレンジ部門 | 4件<br>437,000円 | 8件<br>796,000円 |
| ステップアップ部門 | ―<br>― | ―<br>― |
| コラボ部門 | 1件<br>140,000円 | 1件<br>28,000円 |
| 合計 | 7件<br>677,000円 | 11件<br>917,000円 |

○アダプトプログラム登録団体等に対し，物品の支給等を行い，活動を支援した。また，新規登録の募集を引き続き行った。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 登録数（件）（団体・個人） | 77件 | 76件 |
| 登録ボランティア数 | 1,105名 | 1,222名 |
| 延べ総距離 | 123,060m | 125,370m |

○自治会等が実施する道路管理作業に対し，用具の貸出し，草等の回収，側溝等の汚泥回収を引き続き行った。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 用具の貸出し | 1件 | 1件 |
| 草等の回収 | 16件 | 9件 |
| 側溝等の汚泥回収 | 60件 | 27件 |

○公園内における除草及び清掃等の日常管理を協定締結による住民参加により引き続き行った。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 管理協定締結数 | 48団体<br>74公園 | 48団体<br>74公園 |

（3）市民参画のまちづくり

○パブリックコメントを引き続き実施した。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 実施案件 | 13件 | 7件 |
| 意見件数 | 43件 | 11件 |

○公募委員の状況を調査し，規則・指針に基づいて，審議会等で積極的に公募を行うよう引き続き各課に促した。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 機　関　数 | 12機関 | 11機関 |
| 委　員　数 | 36名 | 30名 |

○直接的な広聴の機会として，市民の市政に対する幅広い意見を徴して，市の政策に反映させる「まちづくりふれあいミーティング」を引き続き実施した。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 実施回数 | 2回 | 2回 |
| 参　加　者 | 45名 | 47名 |

○協働について情報提供，協働を学び話し合う場として，「地域フォーラム」，「協働のまちづくり講座」，「とみさと協働塾」また，市民活動団体が発表する場として「市民活動フェスタ」を引き続き開催した。

○旧岩崎家末廣別邸の保存活用を図るにあたり，旧岩崎家末廣別邸保存活用基本構想（案）のパブリックコメントを実施した。（H27）

○富里市人口ビジョン及び富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するに当たり，富里市まち・ひと・しごと有識者懇談会を開催するとともに，パブリックコメントを実施した。（H27）

○「（仮称）旧岩崎家ゆかりの地広域文化観光協議会」設置に向け，実現性のある連携事業を見だすための旧岩崎家ゆかりの地広域文化観光構想（案）のパブリックコメントを実施した。（H28）

○平成27年に策定した「富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定案の富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定（案）のパブリックコメントを実施した。（H28）

※パブリックコメント抜粋

# 第３章 財政基盤の確立

## （１）市税等徴収率の向上

○市税負担における公平性確保，税の適正な確保のため，納税の意思が確認できない人に対して財産の調査・差押を行い，債権取立及び公売等換価処分を引き続き行った。

○休日納付相談窓口の開設や口座振替，コンビニ，マルチペイメント，クレジットカード（市県民税（普通徴収），固定資産税，軽自動車税，国民健康保険税）による納付方法を周知し，自主納付，期限内納付を引き続き推進した。

○給付制限を引き続き実施した。（介護保険料）

○給食申込制の実施や法的措置（支払督促）を引き続き実施した。

○給食費の児童手当からの徴収を引き続き実施した。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 市税 | 96.81% | 97.74% |
| 国民健康保険税 | 83.82% | 86.24% |
| 保育料 | 98.23% | 98.81% |
| 介護保険料 | 97.20% | 97.26% |
| 給食費 | 98.30% | 98.37% |

## （２）企業誘致の推進

○企業誘致活動の実施

・平成27年度に立地率が１００％となった。富里第二工業団地に進出している企業の動向を迅速に把握し，立地率100％を継続させる。

## （３）使用料・手数料の適正化

○当初予算編成時に歳入確保に関する調書を作成し，全課一斉見直しを引き続き実施した。

## （４）公有財産の運用・管理

○市有地の有償貸付による財源確保を引き続き実施した。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 箇所数 | ９か所 | ９か所 |
| 金額 | 5,535,411円 | 5,948,572円 |

○公共施設の管理経費の節減

コミュニティセンター,本庁舎等,保健センター,消防庁舎,各小中学校

及び幼稚園,葉山こども園，中央公民館,社会体育館,水道事業所

（単位:円）

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 電気 | 101,929,462 | 92,112,822 |
| ガス | 4,540,823 | 5,228,849 |
| 上下水道 | 28,661,585 | 23,174,847 |
| 燃料 | 8,953,782 | 8,560,175 |
| 合計 | 144,085,652 | 129,076,693 |

○公共施設等総合管理計画の策定及び施設カルテの策定をした。（H28）

（5）新たな財源の確保

○広報紙「広報とみさと」等に有料広告の掲載募集を引き続き行った。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 枠　数 | 47 枠 | 46 枠 |
| 金　額 | 470,000 円 | 460,000 円 |

○市ホームページに有料広告の掲載募集を引き続き行った。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 枠　数 | 34 枠 | 30 枠 |
| 金　額 | 340,000 円 | 300,000 円 |

○市民課・日吉台出張所の受付窓口用封筒について，広告掲載した封筒を引き続き製作し，窓口封筒印刷代を削減した。

| | | H27 | H28 |
|---|---|---|---|
| 窓口封筒 | 印刷部数 | 27,500枚 | 31,000枚 |
| 印刷代 | 印刷代 | 111,375円 | 125,550円 |

○課税課，納税課の受付窓口用封筒について，広告掲載した封筒を引き続き製作し，窓口封筒印刷代を削減した。（H28）

| | | H27 | H28 |
|---|---|---|---|
| 窓口封筒 | 印刷部数 | — | 15,000枚 |
| 印刷代 | 印刷代 | — | 60,750円 |

○ふるさと納税の御礼品を拡充し，利用者の手続き緩和に向け，クレジット払い導入の検討を行った。（H27）

○ふるさと納税へ納付しやすいように，平成28年9月1日からホームページにクレジット納付のサイトへ繋がるよう構築した。また，御礼品拡充の検討を行った。（H28）

○図書館の雑誌資料提供の場を広告媒体とする「富里市立図書館雑誌スポンサー制度実施要領」を策定した。（H28）

# 第４章 行財政の効率的運営

## （１）計画的な財政運営および財政の健全化

○健全化判断比率等の公開

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 財政力指数 | 0.77 | 0.78 |
| 経常収支比率 | 91.3% | 92.4% |
| 将来負担比率 | 62.1% | 65.4% |
| 実質公債費比率 | 3.7% | 4.5% |

○経常収支比率の改善

・実施計画シートを事務事業評価シートと兼ねる様式とした。（H27）

・第三次実施計画における各事務事業の評価を実施するとともに、評価結果から実施内容の改善に向けた検討を行った。また、財政担当課においては，来年度予算編成に当たり，経常経費を含め全ての事業を対象に一件査定を行うとともに，財源確保の検討を行った。（H28）

・引き続き経常経費の削減に努め，投資事業を積極的に実施した。

○新地方公会計の整備

・新公会計制度研修への参加とシステム仕様等の調査研究を実施した。（H27）

・総務省標準システム専用機の導入（スタンドアロン端末１台）及び固定資産台帳の整備を実施した。（H28）

## （２）財政支援団体等への行政関与の見直し

○補助金の見直し

・補助金見直し方針に基づき，パブリックコメント手法を応用した見直しを実施した。（H27）

| 見直し時期 | H27 |
|---|---|
| 補助内容の見直し | 0件 |
| 廃止 | 4件 |
| 終期の設定 | 0件 |

○財政援助団体への行政関与の見直し

・団体の規模，事業の目的や性質など多岐にわたっており団体に対する画一的な関与に関する指針を策定するのは難しく，方針の策定に至

らなかったが，引き続き調査・検討を行う。

## （３）民間活力の活用

○民間委託等の推進

・社会体育施設の受付業務については，市シルバー人材センターに委託を行っているが，今後も施設管理を含めた委託及び指定管理者制度等の導入について検討を行う。（H28）

・順天堂大学の持つ知的財産や人材，学生の力といった資源を活用し，大学・市民・行政が連携した魅力あるまちづくりを進めるため，同大学と連携協力に関する協定を締結した。（H28）

○指定管理者制度の適正運用

・市民活動サポートセンターについて，人材の組織化と指定管理者制度の導入を検討した。（H27）

・市こども館について指定管理者制度の適用を決定し，候補者選定委員会を開催した。また，プロポーザルにより指定管理者を決定し，平成２９年４月１日から３年間の協定書を締結した。（H28）

## （４）公共事業の適正化

○入札制度の見直し

・ちば電子調達システムに参加し，電子入札を実施した。すべての業種の入札を電子入札とし，一般競争入札を促進した。実施割合（一般競争入札が約３０％，指名競争入札が約７０％）（H27）

・電子入札とした入札の全ての業種を一般競争入札で実施した。（H28）

○公共工事のコスト縮減

・関係各課等と連携し，公共桝設置工事において施工箇所を合わせて行い舗装復旧費用を引き続き縮減した。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 削減額 | 約 37 ㎡<br>129,000 円 | 約 19.8 ㎡<br>181,000 円 |

・建設発生土の工事間流用により，運搬費・処分費を引き続き削減した。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 建設課<br>削減額 | 約 290,000 円 | 約 740,000 円 |
| 都市整備課<br>削減額 | ― | 1,230,000 円 |

# 第5章 組織と人事管理

## （1）組織・機構の見直し

○幼保一元化により移管される業務に伴い新たな組織（子ども課）設置を検討した。（H27）

○商工観光課の新設・防災課の必要性等について検討した。（H27）

○子育て支援課及び子ども課における班編成と認定こども園化に伴う組織変更及び高齢者福祉課，消防総務課における班編成の見直しを検討した。（H28）

○引き続き，防災課の設置について検討を行った。（H28）

## （2）定員管理の適正化

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 職員数<br>(4/1現在) | 450人 | 451人 |
| 普通会計人口<br>１万人当たりの職員数<br>(類団平均) | 81.85人<br>(93.47人) | 82.49人<br>(98.63人) |
| 一般行政人口<br>１万人当たりの職員数<br>(類団平均) | 52.23人<br>(72.05人) | 53.66人<br>(75.67人) |

## （3）給与の適正化

○平成２８年４月１日施行の改正地方公務員法に基づき，能力評価に加えて新たに業績評価を実施するための制度を整備し，試行を行った。（H27）

○改正地方公務員法に基づく人事評価を実施し，結果を勤勉手当に反映した。（H28）

○人事院勧告に基づく給与制度の総合見直しの実施により給料表の引下げ等を実施し，給与適正化の観点から初任給基準の見直しを行った。また，勤務の振替・代休処理の活用，必要最小限の時間外勤務命令となるよう管理職による事前命令・事後確認を徹底し，時間外勤務手当の削減に努めた。（H27）

○将来的に見込まれる本市の財政課題に備えるため，全職員の昇給を1号給抑制し，引き続き勤務の振替・代休処理の活用等により，必要最小限の時間外勤務命令となるよう時間外勤務手当の削減に努めた。また，千葉県人事委員会勧告に基づき子に係る扶養手当の見直しを行った。（H28）

## （4）人材育成と職員の意識改革

○研修の充実

・研修先

庁内研修，千葉県自治研修センター，印旛広域市町村圏事務組合，市町村アカデミー，自治大学校，その他

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| のべ研修参加者 | 439人 | 407人 |

○新規採用職員に課題を提示し，調査研究のうえ成果の発表を行った。（H27～）

## （5）危機管理体制の充実

○自主防災活動の推進

・（一財）自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業（自主防災組織育成事業）」の申請を引き続き行った。

| | H27 | H28 |
|---|---|---|
| 申請数 | 4件 | ― |
| 助成決定数/申請数 | ― | 1/4件 |

○危機管理体制の構築

・各課の災害時配備体制の確認や新規採用職員研修において，富里市の防災体制についての講義を引き続き実施した。

・職員参集訓練を実施した。（H27）

・災害対策本部設営訓練を実施した。（H28）